

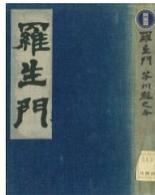
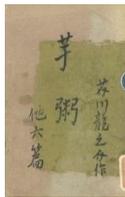
例)

番号	書影	著者名
		書名
		出版年
		出版社

1. 夏目漱石の死

1		夏目漱石
		『行人』
		大正3(1914)年1月(3版)
		大倉書店
2		夏目漱石
		『心』
		大正3(1914)年9月(初版)
		岩波書店
3		夏目漱石
		『明暗』
		大正6(1917)年1月(初版)
		岩波書店
4		夏目漱石
		『硝子戸の中』
		大正7(1918)年8月(13版)
		岩波書店
5		夏目漱石
		『漱石俳句集』
		大正6(1917)年11月(初版)
		岩波書店

2. 芥川龍之介の文学

6		芥川龍之介
		第3次「新思潮」第1巻(復刻版)
		原本:大正3(1914)年3月・5月
		岩波書店
7		芥川龍之介
		『羅生門』
		大正6(1917)年10月(再版)
		阿蘭陀書房
8		芥川龍之介
		『芋粥 他六篇』
		大正11(1922)年2月(初版)
		春陽堂
9		芥川龍之介
		『傀儡師』
		大正12(1923)年6月(初版)
		新潮社
10		芥川龍之介
		『夜来の花』
		大正13(1924)年5月(初版)
		新潮社
11		芥川龍之介
		『黄雀風』
		大正13(1924)年7月(初版)
		新潮社
12		芥川龍之介
		『湖南の扇』
		昭和2(1927)年6月(初版)
		文藝春秋出版部

## 2. 芥川龍之介の文学

13		芥川龍之介
		『澄江堂句集』
		昭和2(1927)年12月(初版)
		文藝春秋出版部
14		芥川龍之介
		『西方の人』
		昭和4(1929)年12月(初版)
		岩波書店
15		芥川龍之介
		『大導寺信輔の半生』
		昭和5(1930)年1月(初版)
		岩波書店
16		佐藤春夫 編
		『澄江堂遺珠』
		昭和8(1933)年3月(初版)
		岩波書店
17		芥川龍之介
		『文芸的な余りに文芸的な』
		昭和12(1937)年9月(5版)
		岩波書店

## 3. 異才・谷崎潤一郎

18		谷崎潤一郎
		『刺青』
		明治44(1911)年12月(初版)
		靄山書店
19		谷崎潤一郎
		『悪魔』
		大正2(1913)年1月(初版)
		靄山書店
20		谷崎潤一郎
		『異端者の悲み』
		大正6(1917)年9月(初版)
		阿蘭陀書房
21		谷崎潤一郎
		『痴人の愛』
		大正14(1925)年7月(初版)
		改造社

#### 4. 「白樺派」の人々

22		「白樺」創刊号(復刻版)
		原本: 明治43(1910)年4月
23		志賀直哉
		『大津順吉』
		大正6(1917)年6月(初版)
		新潮社
24		志賀直哉
		『暗夜行路』
		大正11(1922)年7月(初版)
25		武者小路実篤
		『お目出たき人』
		明治44(1911)年2月(初版)
		洛陽堂
26		武者小路実篤
		『新しき村の労働』
		大正9(1920)年3月(初版)
27		有島武郎
		『生れ出る悩み』
		大正7(1918)年9月(初版)
		叢文閣
28		有島武郎
		『或女』前篇
		大正8(1919)年9月(24版)
29		有島武郎
		『或女』後篇
		大正8(1919)年6月(初版)
		叢文閣

#### 5. 抒情派の系譜

30		佐藤春夫
		『田園の憂鬱』
		大正8(1919)年6月(初版)
31		新潮社
		室生犀星
		『抒情小曲集』
		大正7(1918)年9月(初版)
		感情詩社